

学校だより

くる潮21

川崎市立浅田小学校 学校だより 2024. 8. 29 9月号



<https://kawasaki-edu.jp/2/712asada>
 Tel. 333-5966
 FAX. 344-3793
 本紙の写真はHP同意書を基に掲載しています。

他者に花を手向ける心

校長 野澤 聡

今年の夏も、「命に危険を及ぼすレベルの災害と認識している。」と気象庁が表明するほどの猛暑が約2カ月も続きました。日本中で、「39℃になった」「40℃を超した」とまるで気温ではないような数字が連日ニュースを賑わしました。観測史上最高気温というワードも連日のように報じられ、まさに酷暑の夏でした。7月最後の朝会も児童の体調を考え体育館ではなく教室での朝会とし、子どもたちには「有意義な時間にしてください。」とお願いをして39日間の夏休みに入りました。

そして8月28日、浅田小学校に子どもたちの明るい笑顔が戻ってきました。どの子どもご家族と一緒に大切な夏の時間を過ごし、ひと回り大人になった顔に見えました。休み中、子どもたちに関わる大きな事故の連絡もなく、教職員一同ほっと胸をなでおろしました。ご家庭や地域の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

夏休み後、最初の朝会では子どもたちに台風の話をしてもらいました。8月の後半から続けての列島上陸で日本各地に被害の爪痕を残した台風。自然の大きな力の前ではやはり人間の力には限界があります。災害に備えて日頃の意識の大切さを実感させられます。

また、今年の夏はパリオリンピックが開かれ、現在はパラリンピックも開催されています。世界中のたくさんのアスリートたちの真剣な努力が、見るものに感動を与えてくれたと思います。ただ、今回のオリンピックでは、オンライン上での誹謗中傷が大きな問題となったことも事実です。我々人間は本来、「他者に対して花を手向ける優しい心」を持っています。人類の歴史の始まりと言われる6万年前のネアンデルタール人の時代に、埋葬された人骨の周囲から矢車草やムスカリなど何種類もの草花の花粉が発見されているそうです。これはどのようなことを意味しているのでしょうか。今、規範意識の欠落や他者を寛容に受け入れられないという課題が山積していますが、他人を大切にす心、自分と違う考えを許す心を自分の中で育てていくことが、自分自身の幸せにつながっていくと思います。様々な場面で子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。



8月8日16時43分、日向灘を震源とするM7.1の地震が発生し、初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。1週間後には解除されましたが、災害はいつどんな形で起こるかの予想ができません。「日頃からの地震への備え」とともに、子どもたちにも、「自分の命は自分で守る」ということを日頃から伝えていきます。保護者の皆様のご協力これからもよろしくお願いいたします。

9月の予定

2日(月) 給食開始 6年代休	16日(月) 敬老の日
3日(火) ミート朝会 委員会活動 4年社会見学	17日(火) 集会 クラブ活動 1・2年ふれあい動物園
4日(水) B時程 5年宿泊前健診 5年自然教室保護者説明会 14:30~	18日(水) 第72回開校記念日(休み)
5日(木) スクールカウンセラー来校日 3年日本民家園見学	19日(木) 4時間授業 キラキラタイム
	20日(金) 4時間授業 スマイルタイム
	23日(月) 振替休日(秋分の日)
	24日(火) 体育館朝会 委員会活動 スクールカウンセラー来校日
9日(月) 夏休み作品展~10/2まで	25日(水) B時程
10日(火) 体育館朝会 クラブ活動 1組グループ浅田子ども会議1時間目 第1回浅田小学校運営協議会	26日(木) B時程 3~6年個人面談
11日(水) B時程 校内授業研究会2年	27日(金) B時程 3~6年個人面談
12日(木) にじいろ級校外学習	30日(月) B時程 3~6年個人面談
13日(金) 避難訓練 2組グループ浅田子ども会議1時間目	1日(火) B時程 3~6年個人面談 ミート朝会
	2日(水) B時程 3~6年個人面談 夏休み作品展最終日

10月以降のおもな予定 *予定は変更になる場合があります。

10月11日(金) 前期終業式	16日(水) 後期始業式
11月23日(土) 土曜授業参観	27日(水) 就学時健診
12月25日(水) 授業終了・給食終了	

~第2回校内授業研究会(4年)~7月2日(火)5時間目



校内授業研究会では、昨年度に引き続き「教科等横断的な視点に立った(汎用的な)資質・能力」の育成をめざした授業のあり方や工夫について取り組んでいます。7月は、4年生の算数科「角」の授業をもとに研究協議を行いました。

授業は「180°以上の角の大きさはどうやって測ったらよいか」という問題でした。授業の始めに、ドラえものの「スネ夫」の髪型に着目させたり、魚の口の開き具合に着目させたりして、大きい角への児童の知的好奇心を引き出していました。

本校の研究では、子ども同士の聞き合い、話し合いを中心に、かかわりあいながら問題解決に取り組む学び方に焦点をあてています。子どもたちは、お互いにいろいろなアイデアを出し合ったり、解決方法がなかなか見つけれない友だちの相談にのったりしながら、グループであるいはペアで活発に交流を始めました。解決する方法は1つではないので、後半、多様な考えが全体の場で披露されました。